



静商同窓会 中部支部だより



25年2月1日
第11号

今年はこんなことをやってみたい！！

中部支部長 坂本周造

明けましておめでとうございます。

静商同窓会中部支部は昨年10月で満10年を迎えました。

お陰様で会員数も38名となり、名古屋での同窓会も通算で11回行ってきました。

当初、32年卒の岩田さんが皆さんに呼び掛けて、いろいろなところで親睦会を開催し、それが元となって静商同窓会中部支部が出来上がったのです。今年は同窓会を盛り上げるために、原点に帰る必要があるのかもしれません。中部地区に静商生が集う場は名古屋駅前の東洋ビルにある「嘉文」という飲み屋さんです。例えば、この飲み屋さんに行けば、常に静商の同窓生の誰かが居るとなれば誰かが顔を出すという、同窓生の間柄をそういう風に親密になるようになります。

公式な同窓会は年一回とし、その間は参加自由の「同窓生の交流の場を設ける」ということで、皆さんに呼びかけるのです。つまり、フリーの会合を常に（年一回ではなく）開催するというはどうでしょうか？もちろん参加もフリーです。要はあまり固く考えないで、常に集まって交流する場を設けるというものです。

場所は「嘉文」だけでなくその時によって変えて行くことにすればいいと思います。

そうすることによって年一回の同窓会が活発になればしめたものです。

今年の正月こんなことを考えながら一杯飲んでいました。

静岡商業同窓会中部支部設立10周年に想う

32年卒 長谷川栄一（設立発足時の副支部長）

平成14年10月26日（土）に設立総会が名古屋市中区の中日パレスで開催さ

れ、昨年満10周年を迎えるました。当初、愛知・岐阜・三重の3県に250数名

（名簿より）が居住となっており、設立の案内を発送いたしましたが転居・死
亡・宛先不明等約半分の方々から回答がいただけませんでした。

しかし、初代杉山支部長の熱心なご尽力で毎年総会・懇親会を実施されました。出席人数も20数名でしたが、静岡を離れ当地で生活される皆々様との会話

が懐かしく、時間の過ぎることを忘れ一時を楽しく過ごすことが出来たことと有難く感謝お礼申し上げます。平成20年9月の総会にて役員改選にあたり会の充実、発展のために中部支部継続加入の有無アンケートを実施された結果41名の賛同を得ました。

2代目坂本支部長他役員の皆さまが機関誌中部支部ニュース（第5号より支部だよりに改名）発刊（今年10号発行）や春秋のウォーキング、会則の見直し（年会費2,000→1,000円に）、高校野球（東海4県）の応援等活発な動きに、て昨年も5月に総会・懇親会が開催されました。そして以降毎年5月第3土曜日開催が多数決で賛同決定されました。

楽しくまた美味しい安くモットーに種々工夫されておられます。

役員皆々様のご尽力に心より敬意を表します。

